



ライブ
LIVE
レポート
REPORT

— SMBC 日興 — for Women

女性のための

投資フォーラム2018

セミナー会場



8153

モスフードサービス





執行役員 会長・社長室長
阿部 隆史 氏

～日本のおいしさとおもてなしを～

モスバーガーの誕生

- **モスの社名の由来**
 - ・Mountain 山のように高く堂々と
 - ・Ocean 海のように深く、広い心で
 - ・Sun 太陽のように燃え尽きることない情熱を持って
- **モスバーガーの成り立ち**
 - ・創業者は櫻田 慧(さくらだ さとし)。
 - 「アメリカで味わったとびきりおいしいハンバーガーを日本の方々に食べていただきたい！」という想いから、証券会社を脱サラしてモスバーガーを創業
- **モスバーガーのあゆみ**
 - ・1972年成増(東京)に実験店舗をオープン
 - ・1986年外食業界初の全国47都道府県出店達成
 - ・海外にもアジア・オセアニア中心に進出
 - 1991年台湾、1993年シンガポール、2006年香港、2007年タイ、2008年インドネシア、2010年中国、2011年オーストラリア、2012年韓国、それぞれ1号店をオープン

「食」への取り組み

- **看板商品誕生秘話**
 - ・1972年発売「モスバーガー」年間販売約1,600万個
 - ・1973年発売「テリヤキバーガー」しょうゆ、味噌など、日本の発酵文化を活用、年間販売約1,300万個
 - ・1987年発売「モスライスバーガー」累計40種類以上の商品を開発し、年間販売約1,000万個
- **モスの生野菜**
 - ・生野菜は国産、全国約2,900軒の協力農家から野菜を調達
 - ・減農薬・減化学肥料を推進し、どのように作ったかを当社スタッフが確認
 - ・生野菜生産者と対話、また、農業後継者育成を推進
- **食育活動**
 - ・2005年～「モスバーガー食育プログラム」学校の授業の一環として調理、試食等、実施校累計710校
 - ・2006年～「キッズニア東京」出展、職場体験の機会

大切にしていること

- **モスバーガーが大切にしていること**
 - ・「アフターオーダーシステム」圧倒的なおいしさのために、注文を受けてから商品を作ります
 - ・「日本の食文化を表現」日本人の好みにあったハンバーガーを開発します
 - ・「医食同源という考え方」身体によい食材を求め続けます
 - ・「ダイレクトコミュニケーション」お客様との直接対話を大切にします
- **モスバーガーの店舗分布図(2018年7月末現在)**
 - ・国内1333店舗
 - (関東460店舗、中部255店舗、近畿175店舗他)
 - ・オーストラリアとアジアで、8国と地域に357店舗
- **AIRMOSバーガー・・・国際線機内食**
 - ・2011年よりJALとコラボ、期間限定機内食を開発

業績、株主還元

- **2017年度決算、2018年度業績予想**
 - ・2017年度の売上高は71,300百万円、営業利益は3,736百万円、当期利益は2,470百万円
 - ・2018年度は、営業利益3,800百万円、当期利益2,500百万円を計画
- **配当、株主優待**
 - ・2017年度の年間配当金は28円、配当性向は34.9%
 - 2018年度配当は年間28円、配当性向34.5%を予定
 - ・モスバーガーとミスタードーナツで相互利用可能な優待券を年二回、送付。
 - ・利用可能金額は100以上500株未満が2,000円、500株以上1,000株未満が10,000円、1,000株以上で20,000円
- **新メニュー**
 - ・デミグラ牛カツバーガーと桜えびコロケバーガーを9月13日に発売予定

本資料は、フォーラム開催日の2018年9月1日現在の情報に基づいて作成されており、その後の業績動向等を反映したものではないため、明示、黙示に関わらず内容の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。